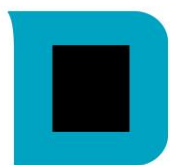

多様性と向きあう次世代の若者たち

2020年6月25日



株式会社大広
次世代ロールモデル研究プロジェクト
リーダー 高橋勇策



1993年 青山学院大学文学部**教育学科**卒業

同年 (株)アドメルコ (現(株)アイプラネット) 入社

- ・**マーケティングセクション**に配属
- ・三菱電機企業広告調査、家電製品の開発サポート

1999年 (株)**大広**入社

- ・主に食品メーカーの新商品開発サポート／コミュニケーション戦略立案業務などを担当

2005年 サントリー担当チームへ

- ・健康飲料／健康食品
- ・**サントリーチューハイ ほろよい** (09年発売)
→ 新製品開発から、ブランド育成をサポート

2016年 新設部門 東京プロデュース局へ配属

- ・コミュニケーション戦略立案に加え、**広告制作**を担当

2018年 **次世代ロールモデル研究プロジェクト**

- ・情報発信サイト<18カラ〜ノ、>運営

若者
研究へ

新人類世代と
団塊ジュニア世代の
端境期生まれ

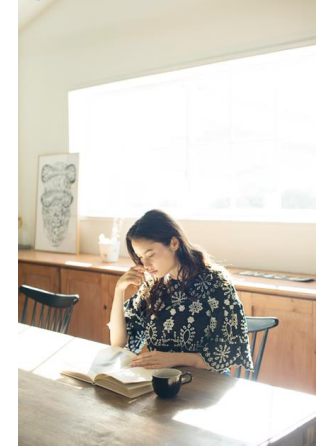
失われた10年の後
いざなぎ景気到来

その後
ライブドアショック、
リーマンショックが続く

東日本大震災
二度目の政権交代
安倍長期政権へ

変革の時代へ
平成から、令和
Withコロナ時代へ

浮き沈みの大きい時代



次世代ロールモデル研究 プロジェクト



「ロールモデル」の消失

右肩上がりの成長社会が終焉。終身雇用・年功序列は崩壊。
若者世代の羅針盤となる生き方、働き方の「ロールモデル」が消失。

「将来設計」の前倒し

選挙権や成人年齢の引き下げを契機に、10代の若者たちへ
進学やその先に待つ就職など、「将来設計」の前倒しを迫る。

**18才からの
若者たち**

「多様な選択肢」の提示

日本の将来や自分たちの未来に夢を抱き、前向きな気持ちで
将来・人生を考えられる「多様な選択肢」の提示が求められる。



18才からの、「生き方」を探す。
18才からの、「ロールモデル」を探す。
18才からの、「若者」を理解するヒントがある。
18才からの、「将来」を一緒に考える。
18才からの、「人生」を応援する。
夢の第一歩は、18才から。

- 1. 新しい若者世代**
- 2. 時代から見る若者の変遷**
- 3. 多様な「ロールモデル」の影響**
- 4. 地方における多様性**
- 5. コロナ禍における将来像**

- 1. 新しい若者世代**
2. 時代から見る若者の変遷
3. 多様な「ロールモデル」の影響
4. 地方における多様性
5. コロナ禍における将来像

18才前後の若者たち = **Z** 世代

2000年前後に誕生した、「ゆとり世代」の次の世代。

アメリカで「センテニアルズ」「ジェネレーション Z」と呼ばれている世代。

少子高齢社会

大学全入時代

18才選挙権

成人年齢引下げ

など、社会環境が大きく変貌。

18才とは、

社会からは大人へと

押し出されながら、

現実には自立しきれていない

ハザカイキにある年齢。

キーワードは、「格差」「ブラック」。

「東日本大震災」も小学生での出来事。記憶は曖昧。

「格差」「ブラック」は、物心ついたころから存在し、今も解消されないリスク。

例えば…
今18才だと

誕生

小

中

高

18才

89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

ベルリンの壁崩壊

バブル崩壊

阪神・淡路大震災

iMac発売

アメリカ同時多発テロ

日韓W杯

イラク戦争

「格差社会」が流行語

「ワーキングプア」が流行語

リーマンショック

「派遣切り」が流行語

東日本大震災

「ブラック企業」が流行語

消費税引き上げ

熊本地震

「インスタ映え」が流行語

平成から、令和へ

東京オリパラ開催↓延期／コロナ禍

ゆとり教育（小中）

平成最初の10年間

平成真ん中の10年間

平成終わりの10年間

将来不安から、強い「安定志向」。

漠然とした将来不安に対して、現状維持の意識が働いている。
また、「失敗したくない」というリスクヘッジ意識も強く、「安定志向」が強い。

**ブラック企業にだけは
絶対就職したくない。**



18才
高校3年男子



19才
大学1年女子

普通に就活して就職して普通に暮らしたい。
テレビで夢を追いかけて失敗したという人を見て、
ああはなりたくないなと思って。
失敗してもなんとかなるとはあまり思えない。

「将来設計」の前倒し現象へ。

高校から職業選択を考え始める。社会に出るまでの猶予期間だった大学生活は、社会に飛び立つ上で、人生における重要な決断期へと変化。

学びたいことがある。マーケティングに興味があって経営学部にしたので、それを勉強したい。

大学在学中に起業をしたい。父親が起業したので負けていけない。



18才
高校3年男子



18才
高校3年男子



18才
高校3年女子

姉は大学2年で将来をしっかりと考えていない。そうはなりたくない。今から企業の採用情報を見たりしている。

身近な「先行事例」がお手本。

今の日本に共通した生き方、働き方のロールモデルは存在しないが、
家族を代表とする身近でリアルな「先行事例」が強く影響。



19才
大学1年男子

父親は外資系企業に勤めていて、母の妹が通訳をしている。
そういうのを見てかっこいいなと思う。自分はバッグ1つで海外へ
フラッと行けるようになりたい。海外で勤めるのもアリかなと思う。



20才
美大2年女子

おじいちゃんは絵が好きで、趣味で描いているのを
一緒に見たり描いたりしているうちに自分も好きになった。

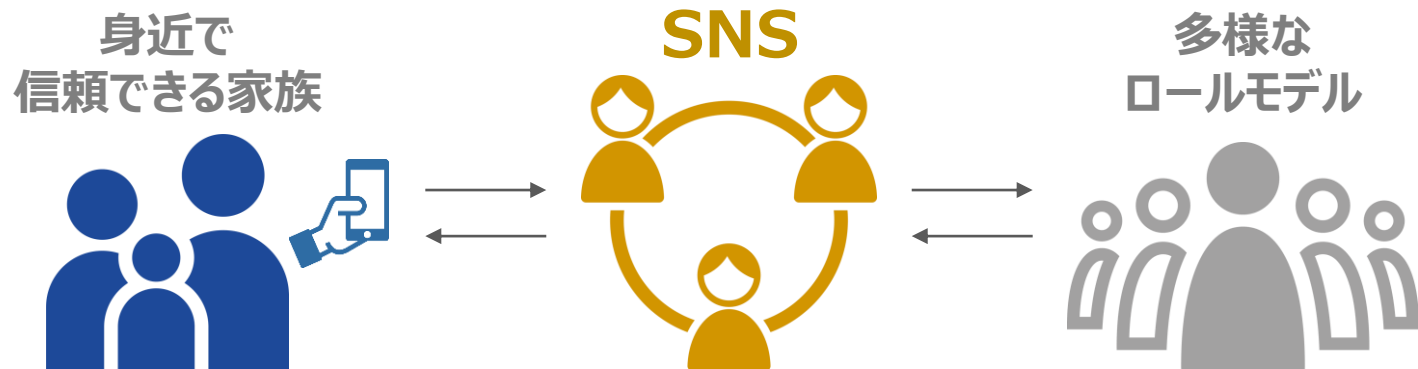


18才
高校3年女子

家が自営業で、自分も店を持ちたいと思っていた。
だから大学も経営学科を選択。洋菓子店が夢。

お手本となる「先行事例」から、 生き方「ロールモデル」探しへ。

デジタル化・SNSのインフラ化によって、従来では広く目に触れることのなかった
様々なライフスタイルや、人生における多様な選択肢が可視化。
就活、就職、バイト、消費、人間関係、ライフスタイル、流行、遊び、恋愛など、
様々な「先行事例」に触れることが可能になった。

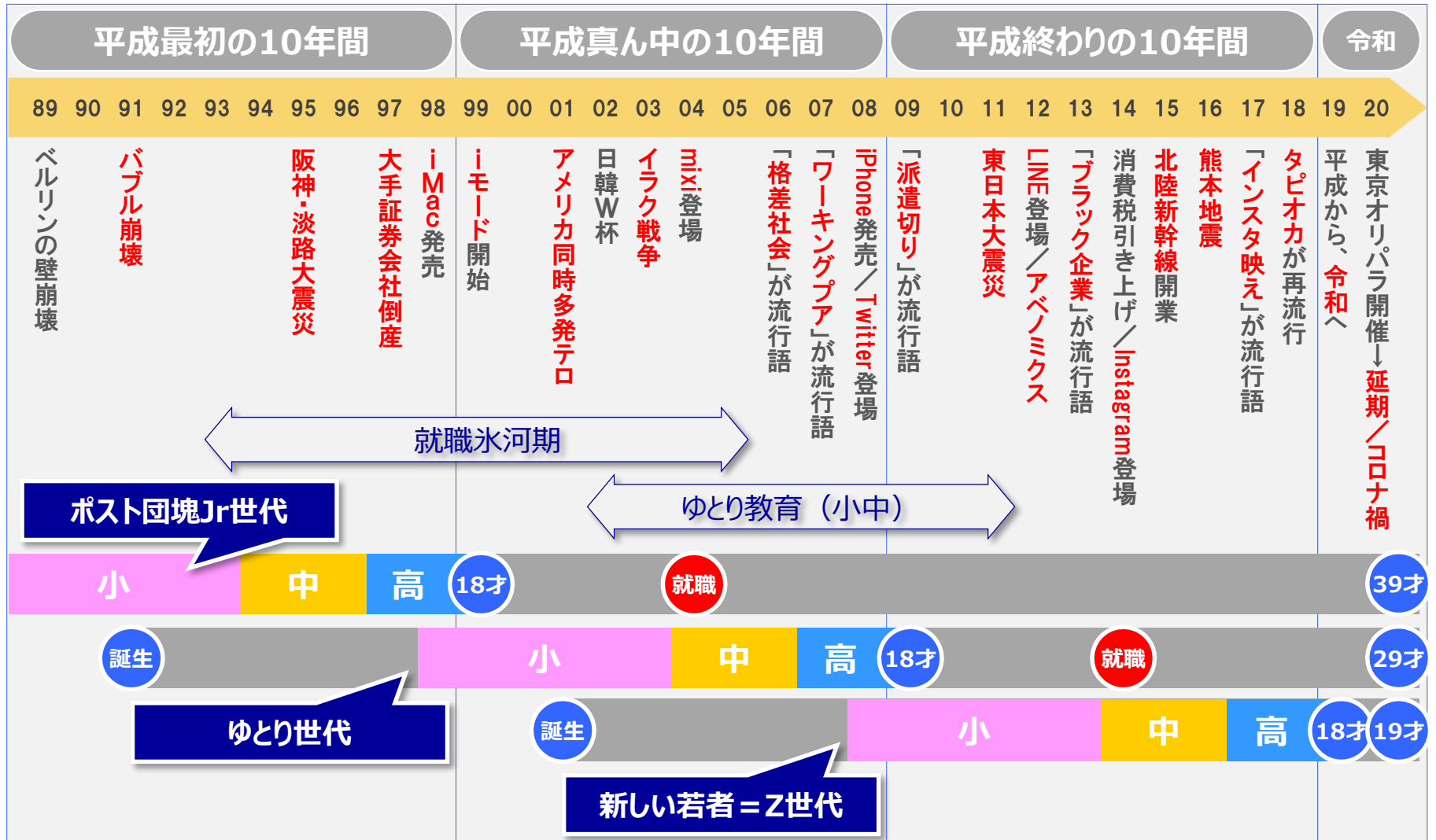


1. 新しい若者世代
- 2. 時代から見る若者の変遷**
3. 多様な「ロールモデル」の影響
4. 地方における多様性
5. コロナ禍における将来像

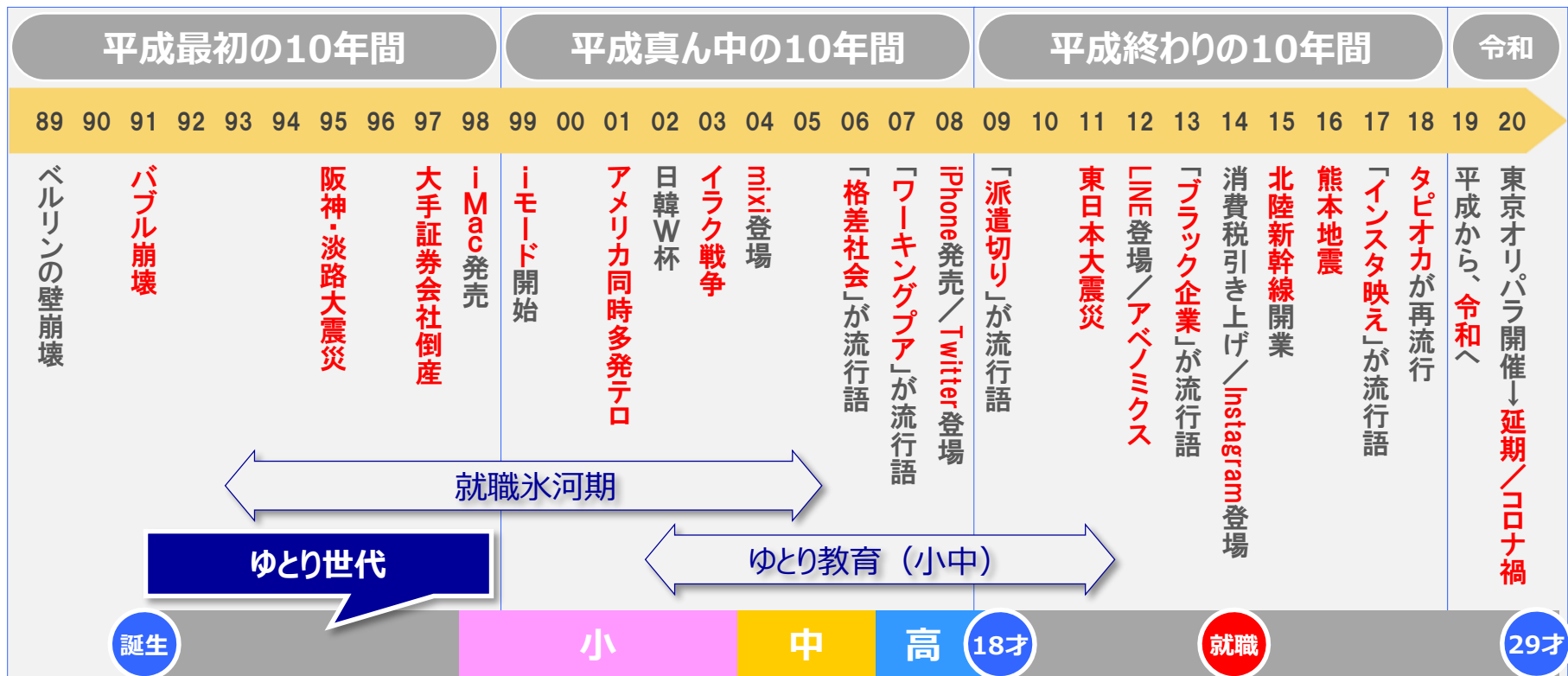
平成30年間に、3つの若者世代が存在。



それぞれ10代を過ごした10年間が強く影響。

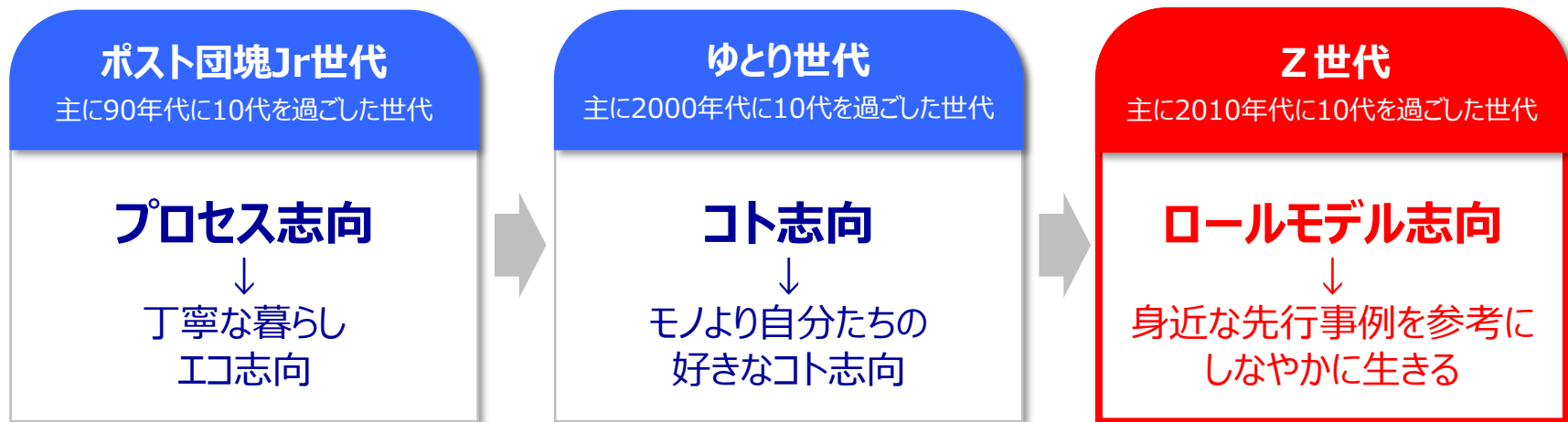


テクノロジーの進展が生活を変えた世代。



景気の大きな変動を10代で経験。協調性が高い反面、本音がやや苦手。共感できる・つながれるヒト・コトを重視する。

時代と共に、若者の意識も変化。



「プロセス」志向が、消費やライフスタイルの様々なバックストーリーを掘り起こした結果、「モノ」重視から、「体験・関心＝コト」重視へ。

「コト」志向が進むにつれ、「ネタ」消費が進行。さらに、SNSの進展によって「アレンジ志向」へ発展。その結果、多様な「ロールモデル」が可視化へ。

1. 新しい若者世代
2. 時代から見る若者の変遷
- 3. 多様な「ロールモデル」の影響**
4. 地方における多様性
5. コロナ禍における将来像

「ロールモデル」との出会いが、 多様な「選択」を後押しする。

生き方、働き方の様々な「先行事例」を目の当たりにし、
自らの夢や目標の実現に役立つ「ロールモデル」を見つけることが可能に。

将来は
地元に戻って
起業をしたい



福井／18才
高校3年男子

大学に
通いながら
アーティストを
目指したい



首都圏／20才
大学2年女子

料理人
になりたい



福井／18才
高校3年男子

オーストラリア
の動物看護師
になりたい



首都圏／16才
高校1年女子

野球留学して
将来は米国で
仕事をしたい



首都圏／18才
高校3年男子

将来は
イタリアで
暮らしたい



福井／19才
大学1年女子

母が薦めた「動物番組」がきっかけで、 夢は、豪州で「動物看護師」。

最も身近なお手本である「母親」の留学経験やドキュメンタリー番組の薦めなどをきっかけに、中学時代に「動物看護師」の進路を固める。

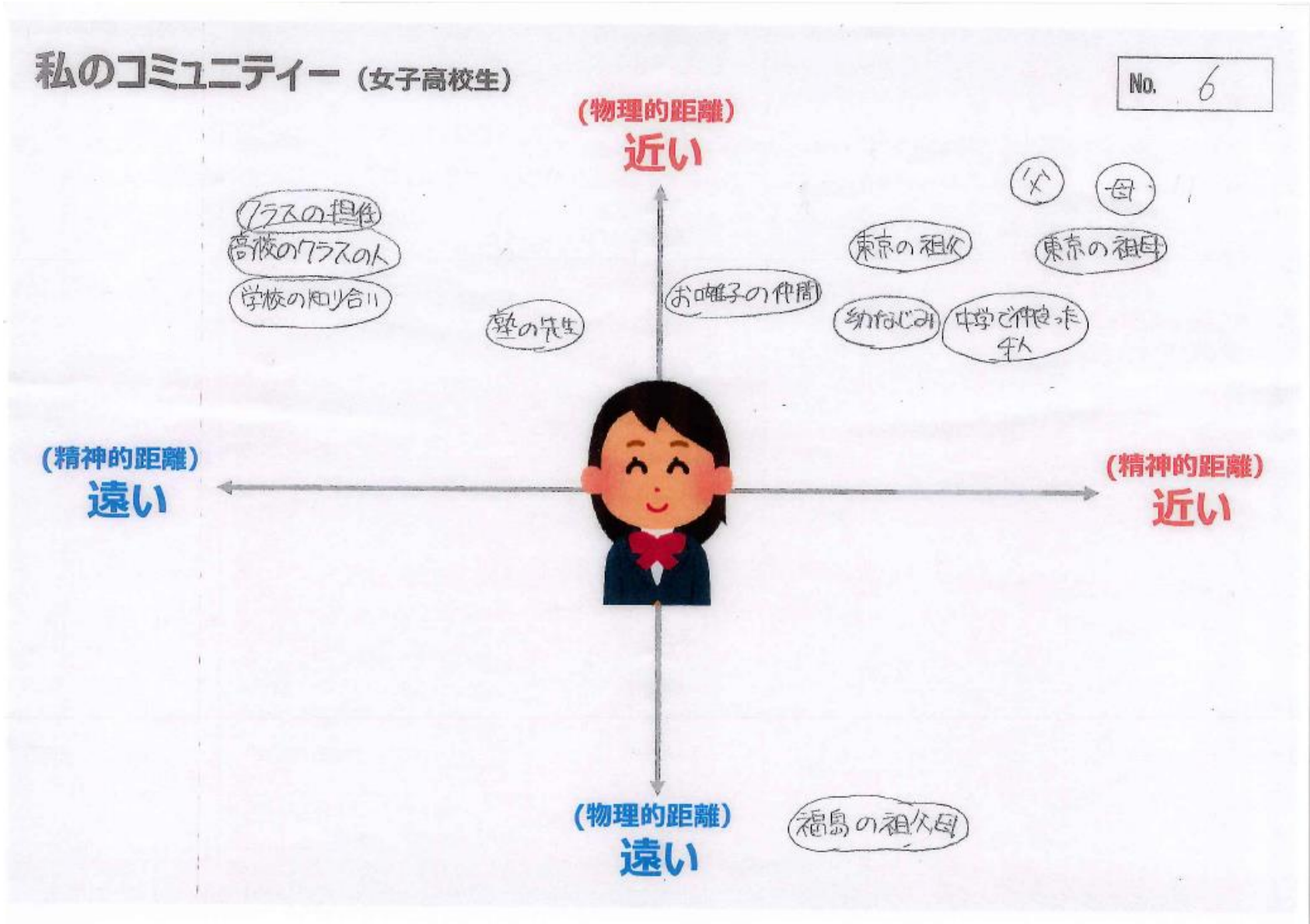
中学から動物の仕事とってた。
「ボンダイビーチ動物病院」という
ドキュメンタリー番組がきっかけ。

動物の心理にも興味があるので、
専門学校よりは大学だが
専門学校も来週見学に行く。



お母さんが昔オーストラリア留学。
今もホストファミリーと連絡とって、
自分も何度か会っていて、
高校入学時に久しぶりに会った。

両親も応援してくれてる。
お母さんも留学したので勧めてくる。



「ロールモデル」の選択に、 「親世代」の影響が大きい。

新人類・バブル世代は、バブル崩壊・格差の拡大・デジタル化・SNSの台頭・災害
・東京オリパラなど、浮き沈みの大きい時代を経て、社会の変化へ柔軟に対応。

〈親世代〉
高学歴かつ、
新しい学生
生活を謳歌

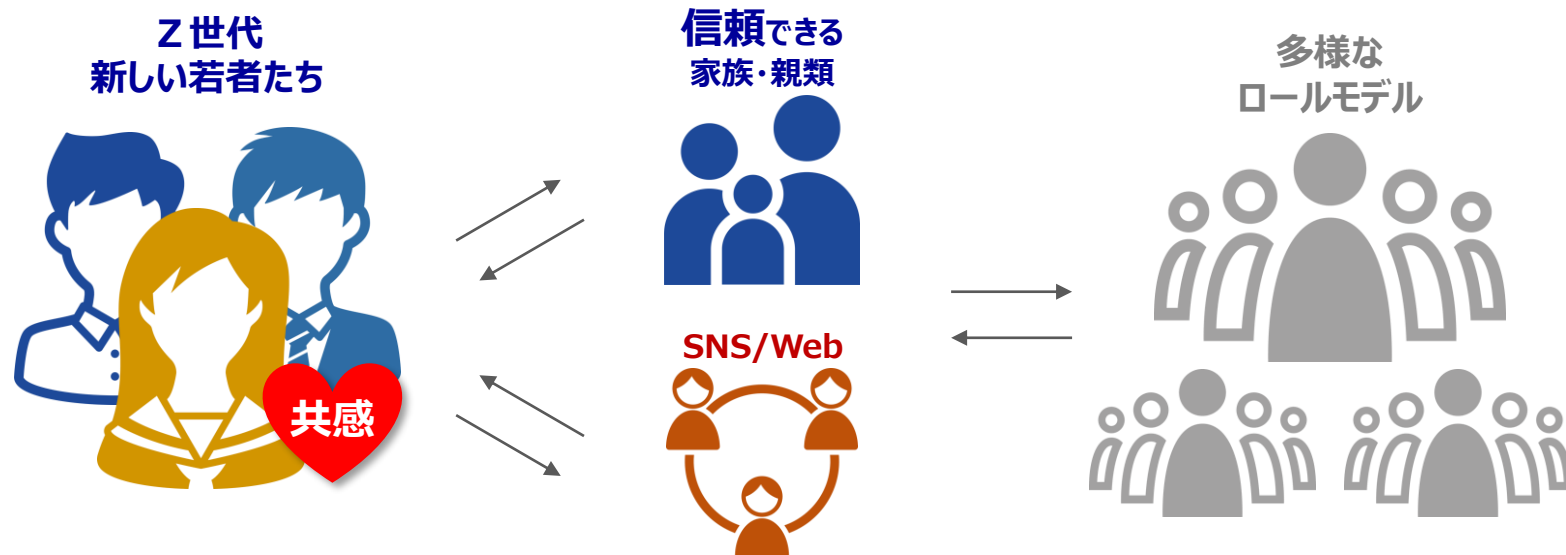


新人類・
バブル世代の親

基本的に、**消費意欲が高い**。
社会へ出るタイミングが多様な時代・
変革の時代の入り口だったため、
古い価値観にとらわれない。
子どもと友だち感覚で気軽に付き合い、
消費や生活行動の**変化にも柔軟**。

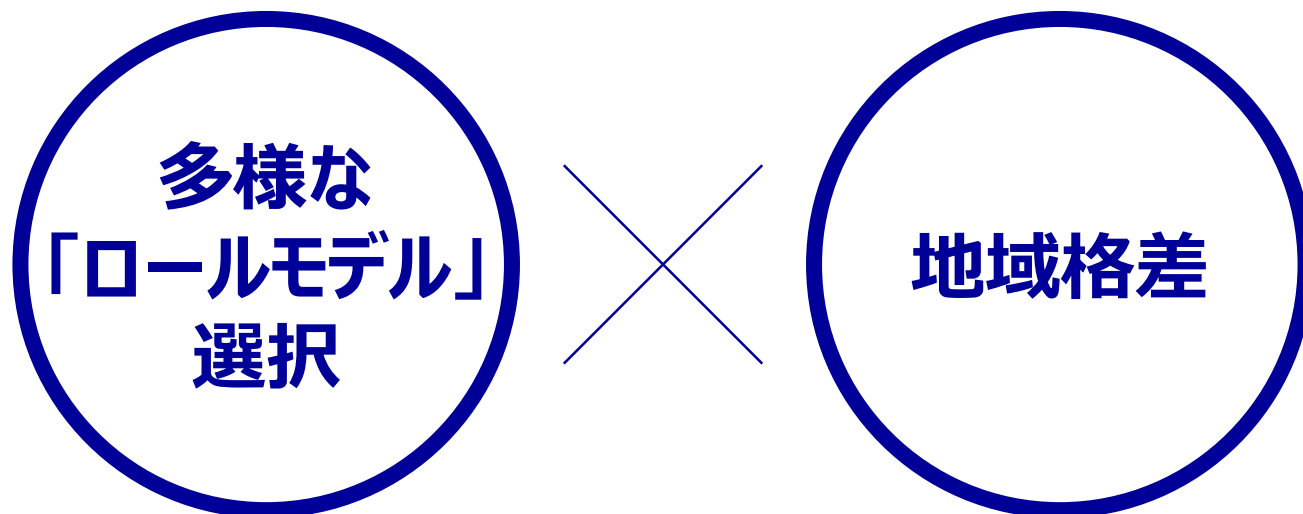
共感・信頼できる、 「近しい人」のアドバイスが鍵。

多様な「ロールモデル」の存在は、すでに「選択肢過多」な側面も。
さらに、不確かな情報が多いことから、取捨選択にはリスクヘッジが必要。
信頼のおける相互関係を前提に、「両親・祖父母・叔父叔母・従妹」などの
アドバイスを受け、共感できる「先行事例」「ロールモデル」を選択。

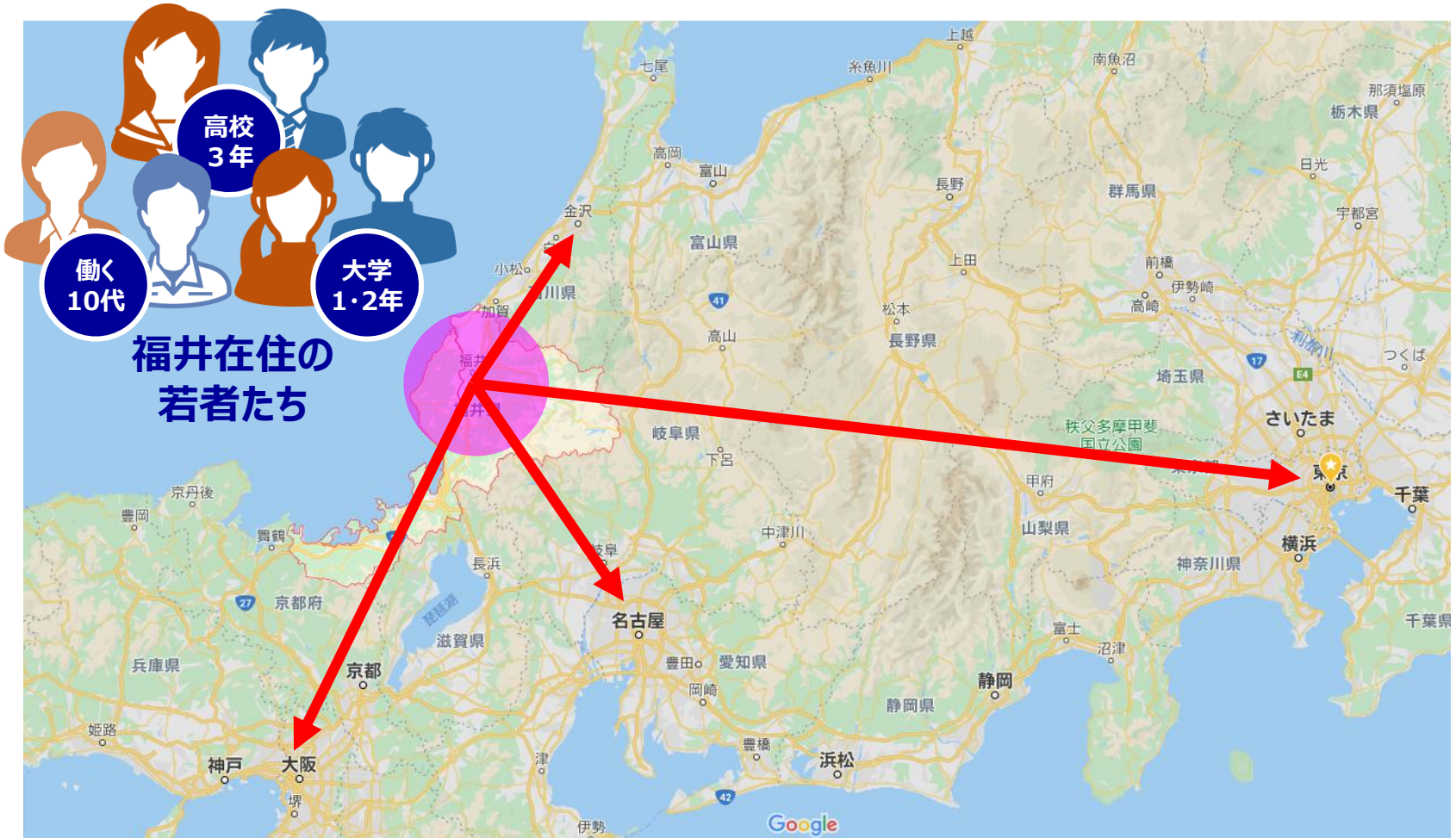


1. 新しい若者世代
2. 時代から見る若者の変遷
3. 多様な「ロールモデル」の影響
- 4. 地方における多様性**
5. コロナ禍における将来像

**多様な「選択肢」は地方にも存在する？
それとも大都市偏重なのか？**



幸福度ランキングが高く、 進学・就職の選択肢が多い。



目標の先にある「選択肢」を意識

進学や就職などで必ずしも希望が叶うとは限らないが、
現状を受け入れ、次の目標やその先にある「選択肢」を模索。



福井 / 18才
高校3年男子

大学が岐阜なので県外に出るが、
福井で起業したい。東京に行くなら海外に。
もっといろいろな価値観の人達がいる。

今はまだ全然将来が想像できない。
学部が何をやってもいいところで逆に悩む。
何をしたいのか分からずにいる状態。



首都圏 / 19才
大学1年男子

福井も県外も、選択は様々。

東京を代表とする大都市圏へ憧れを抱くことも自然なこと。一方で、地元へ残ることも決してネガティブではない。県外という選択肢も様々。

都会はお祭りみたいな感じで楽しそうだけど、住むなら人混みも嫌だから福井がいい。

出て行く友達がいてもそれはそれ。自分は自分。友達が出て行くことは別に自然なこと。



福井/20才
社会人女子



福井/17才
高校3年女子



福井/18才
高校3年男子

県外の先輩もインスタでフォロー。進学で北海道へ地域復興のため。県外と言っても行先はいろいろ。

多様な選択は、地方こそ可能に。

	都市部	地方
情報・ 選択肢	画一化しがちな 情報/選択肢	地方/都市/海外 など多様
生活・心理的 基盤	今後作っていく 必要性 ↓ 選択肢が狭まる	安定的 ↓ 多様な選択を 可能にしている

地方 × 多様性

新たな「選択肢」としての動き

“ 高校選びの新たな選択肢

しまね留学 ”

しまね留学とは、
島根県外に住んでいる
 意欲ある中学生が、
 島根県の高校に入学し、
島根県で充実した
 高校3年間をおくこと。



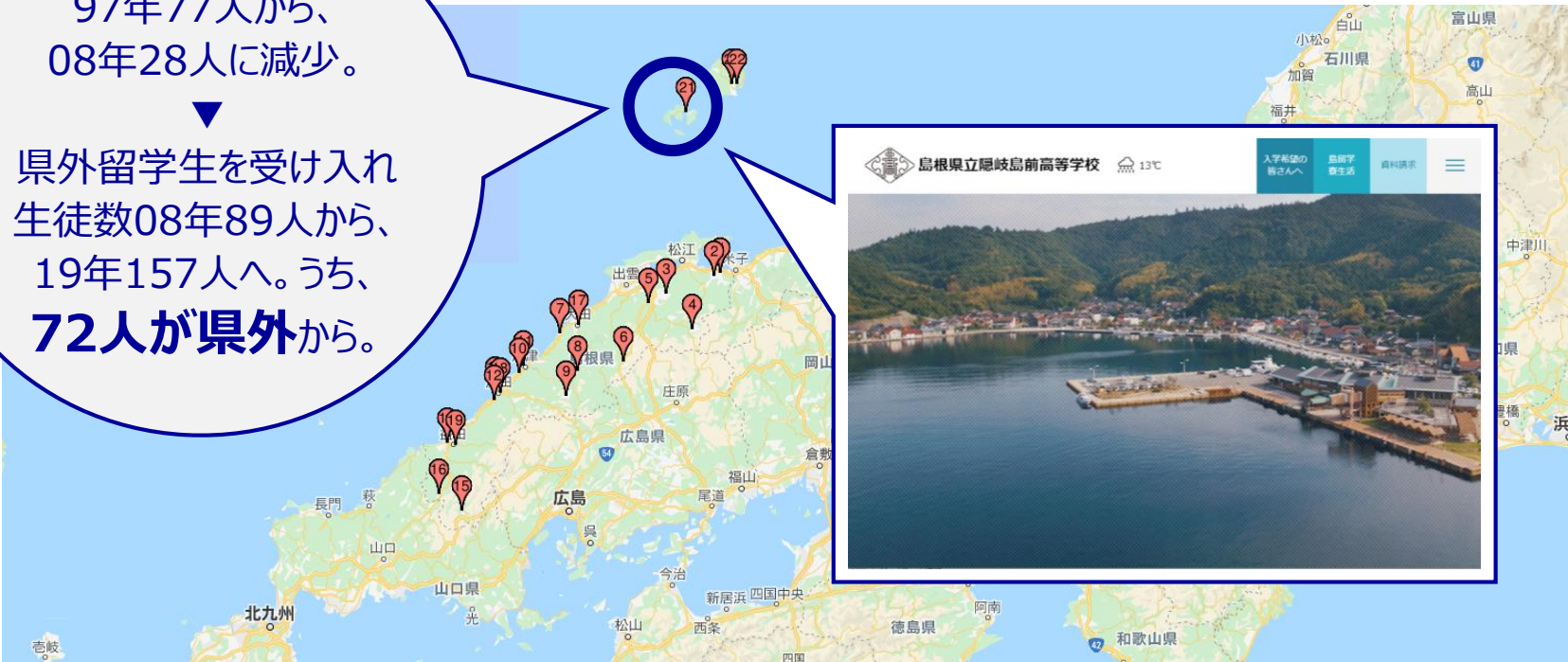
始まりは、隠岐島前高校から。

2008年当時、島根県内でも離島の「隠岐島前高校」は廃校危機にあり、「隠岐島前高校魅力化プロジェクト」を発足。県外からの留学を受け入れることに。

新入生が、
97年77人から、
08年28人に減少。

▼

県外留学生を受け入れ
生徒数08年89人から、
19年157人へ。うち、
72人が県外から。



“ 多様な経験の積み重ねができる環境を整え、
経験を通しての気づきを大切に、「主体的・対話的な深い学び」に ”

* 学校案内2020 / 校長挨拶より

《隠岐島前について》

海外
観光客



絶景
自然



交流と
自主性



伝統
文化



“ 離島では初となる文部科学省のスーパーグローバルハイスクールに指定。
多様な生き方、働き方、価値観に出会い、視野を広げます。 ”

* 学校案内2020 / SGH指定は令和元年度まで。

異文化
体験

《日々の実践 / グローバルな挑戦》

地域
体験



グローバルな挑戦

トルコからの留学生ヤスミンが餅つき体験に参加しました

2020年2月13日 (木)

<https://www.dozen.ed.jp/global/2672/>



日々の実践

今年もアカモクの季節がやってきました

2020年2月12日 (水)

<https://www.dozen.ed.jp/local/2668/>



日々の実践

1年生が各地のインターンシップで頑張っています

2020年2月6日 (木)

<https://www.dozen.ed.jp/local/2648/>



グローバルな挑戦

TYCAの当日の様子がウェブサイトにて公開されました

2020年2月4日 (火)

<https://www.dozen.ed.jp/global/2540/>

キャリア
教育

国際
教育

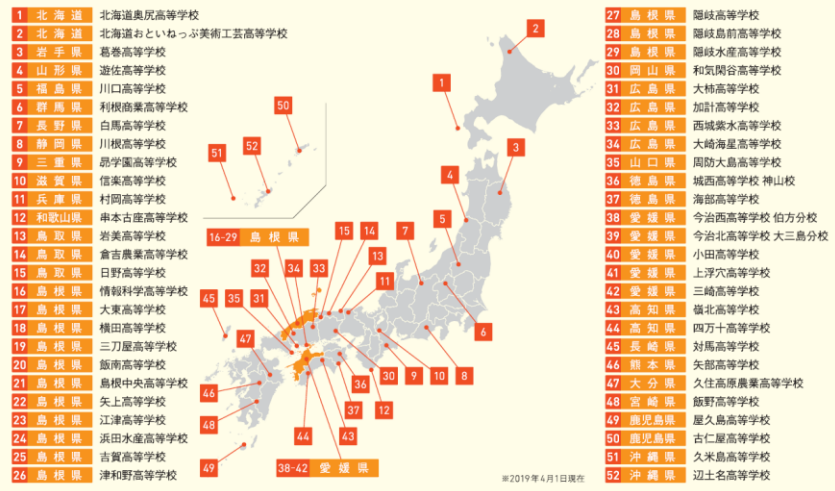
「地域みらい留学」が、全国拡大。

一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム設立、その事業として発展。
進学率や偏差値という物差しではない、新しい選択肢として注目されている。

2019年受入先**26道県59校**
(2018年13道県34校)
地域への留学者数年間**350人以上**



25道県52校が地域みらい留学を受け入れ！
魅力あふれる学校があなたを待っています。



学校と生徒が会う合同学校説明会
「地域みらい留学フェスタ2019」
参加者数：全国4会場1,108組2,093名
* 2018年：561組1,173名

1. 新しい若者世代
2. 時代から見る若者の変遷
3. 多様な「ロールモデル」の影響
4. 地方における多様性
- 5. コロナ禍における将来像**

7名の若者たちへインタビュー。

首都圏在住の高校生4名と、福井在住の大学生2名と福井の高校から首都圏の大学へ進学した若者たちへオンラインインタビューを実施。

首都圏
高校2年
17才



首都圏
高校3年
17才



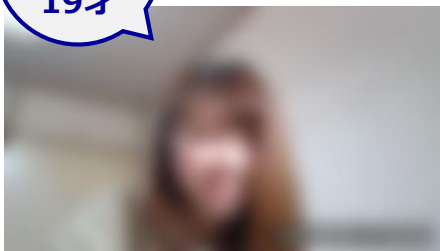
首都圏
高校3年
17才



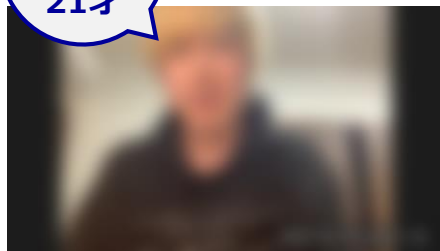
首都圏
高校3年
17才



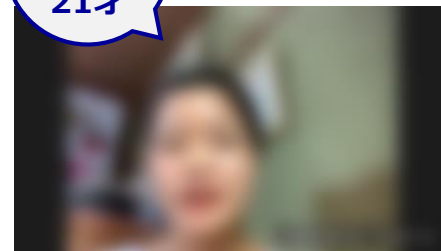
福井出身
大学2年
19才



福井
大学3年
21才



福井
大学4年
21才



出来ることを普通に、取り組む。

焦りや強い不安を感じている訳ではなく、在宅で日々出来ることを普通に行う。
しかしながら、コロナ禍における生活に対するストレスの感じ方は人により様々。

首都圏
高校2年
17才



学校は課題だけ。
運動ができないので
家で筋トレしている。
とにかく早く学校に
行きたい。

首都圏
高校3年
17才



授業はオンライン。
GW明けに始まった。
受験に向けて毎日
10時間勉強している。
不安は特にはない。

首都圏
高校3年
17才



授業はオンライン。
大学は推薦目指して
レポートを頑張ってる。
早く新しいクラスメート
に会いたい。

首都圏
高校3年
17才

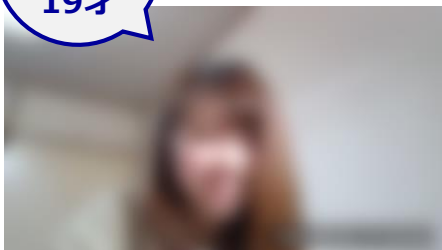


授業はオンライン。
受験問題を解く授業。
毎日普通に勉強。
外出できないのが嫌。
早く出掛けたい。

描いていた将来像に、挑戦中。

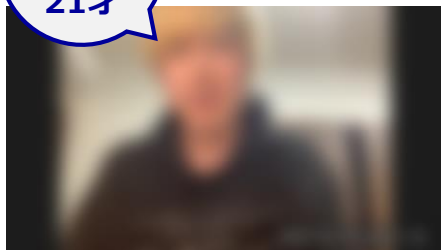
福井在住・出身の大学生たちは、就活中の4年生を含めて、コロナ禍でも夢や目標といった将来設計の再検討は行わず、果敢に挑戦中。

福井出身
大学2年
19才



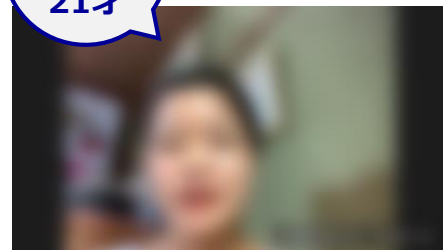
公認会計士の試験に向けてずっと勉強中。大学と住まいが郊外なので、集中できてちょうどよい。

福井
大学3年
21才



授業はオンライン。GW明けに始まった。大学院へ行くつもりで将来不安は特にはない。実験がどうなるかだけ。

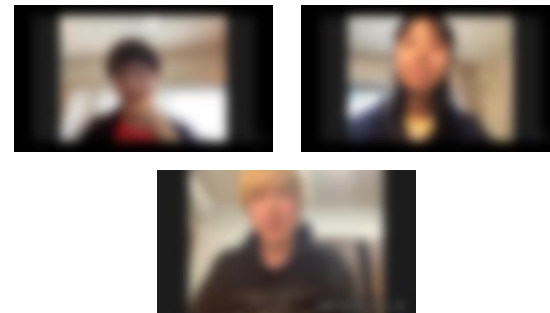
福井
大学4年
21才



就職は希望だった観光業の中からホテル業に決めた。オンライン面接中。採用数が減ると困る。

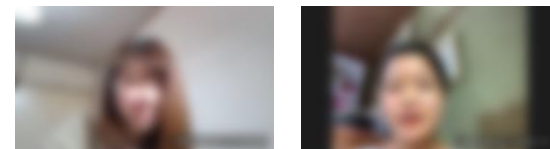
「レジリエンス」を発揮

「はね返す力」という意味。コロナ禍による不自由な生活も、柔軟に対応し自分なりに変化を受け入れ、目標へ一途。



ブレない「将来設計」

高校時代にロールモデルを見つけ「将来設計」を前倒し。早期に将来目標を定めていた人ほど、現状も前向き。



強い「自立心」が障害

家族からの自立心が強く、生活を自己管理していた人ほど、不自由な生活にストレスを感じている様子。



< With/afterコロナにおける変化 >

時代

不確実な時代の到来、顕在化

動力

デジタル化の加速により様々な壁が消失

価値観

連帯意識の強まりと現実における格差の拡大



**将来が不確実で、
何が正解かわからない時代へ。**

< With/afterコロナにおける変化 >

時代

不確実な時代の到来、顕在化

動力

デジタル化の加速により様々な壁が消失

価値観

連帯意識の強まりと現実における格差の拡大



**不確実だからこそ求められる
多様なロールモデル。**

< With/afterコロナにおける変化 >

時代

不確実な時代の到来、顕在化

動力

デジタル化の加速により様々な壁が消失

価値観

連帯意識の強まりと現実における格差の拡大



**多様なロールモデルも不確実で、
レジリエンスの発揮が必要。**

最後に、

リスクヘッジによる安定志向
**将来設計の
前倒し現象**

ゆとりの終焉
**新しい若者世代
の誕生**

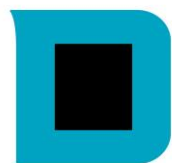
情報化・デジタル化による
様々な**先行事例
の可視化**

**多様な「ロールモデル」が、
「レジリエンス」を高める。**

選択肢過多からの
取捨選択
不確かな情報の見極め

友達感覚で付き合う親世代
バブル・新人類世代の
親の後押し

正解のない不確実な時代に
多様な選択肢が
前向きな生き方を支える



株式会社大広

次世代ロールモデル研究プロジェクト

〈お問い合わせはこちら〉

- ・株式会社大広 | <https://www.daiko.co.jp/contact/>
- ・次世代ロールモデル研究プロジェクト | yusaku.takahashi@daiko.co.jp

※本資料の無断での複写、転載、配布などをご遠慮ください。